舞鶴市ボランティアセンター

令和２年７月１５日発行

ボランティアだより

お知らせ

第９４号

令和２年度のセンター事業が決定しました！

舞鶴市ボランティアセンターは今年１０月で**開設４５周年**を迎えます。

記念講演と記念誌の発行を予定しています。詳細は決定次第お知らせします。

月	令和２年度センター事業	その他の関連事業
４月		「舞鶴市社協かがやくボランティア」 ほか各種補助金案内（送付済み）
５月		
６月	福祉施設に綿布を贈る活動（２３日）	身体障害者交流運動会⇒**中止**
７月	ボランティアだより発行	
８月	ふれあいバザー⇒**中止**	
９月		京都府社会福祉大会（式典・講演）⇒**中止**
10月	ボランティアだより発行	
11月	福祉施設に綿布を送る活動（２４日） ボランティア・市民活動の芽を育てる事業 （ボランティア体験教室）	ふれあいレクリエーション（協力） きょうと地域福祉実践交流会 （２８日：宇治市）⇒来年度に延期
12月	まいづるボランティアだより発行	歳末ボランティア実践 障害者ふれあい行動デイ（協力）
１月		
２月	開設４５周年記念事業（記念講演会ほか）	ボランティア保険の加入案内 舞鶴市社会福祉大会（表彰）
３月	開設４５周年記念事業（記念誌発行）	舞鶴市社協かがやくボランティア活動 事業補助金交付

ふれあいバザー中止のお知らせ

毎年８月に開催しています「ふれあいバザー」は、多くの来場者があり、ボランティアセンターの一大イベントとして盛り上がっていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止させていただきます。非常に残念な決断となりましたが、この事態が早期収束し一日も早く皆さまが健康で安心して過ごせる日が来ることを願っております。

報告　ボランティア体験教室を開催しました！！

２月２９日（土）に中総合会館３階でボランティア体験教室を開催しました。ボランティア体験教室は新たにボランティア活動を始める人が増えてほしいという思いから毎年開催しています。今回は２７名（新規参加者１４名）の方が参加され、要約筆記とアイマスクの体験をしました。要約筆記（※）の体験はボランティアグループの要約筆記サークル「みみかき」を講師として招き、ボランティアを始めたきっかけや、ボランティア活動をして感じていることなどをお話いただきました。その後、要約筆記の基礎を教えていただきました。

アイマスク体験は、視覚障がい者の気持ち体験することを目的に二人一組となり、歩行や階段の上り下り等、アイマスクを着用し実際に体験していただきました。参加者からは、「とても貴重な体験ができました。何か自分にもできるボランティアを見つけたい。」などの声が聞かれました。

要約筆記体験

アイマスクでの歩行体験

周りの様子がわからないので、移動はとても不安でした

※要約筆記とは？
聴覚障がいの方への情報保障手段の一つで、話されている内容を要約し、文字として伝えること。

報告　市内福祉施設に綿布を贈る活動を実施しました！！

６月２３日（火）に今年度最初となる活動を実施し、２，０８８点の綿布が集まりました。今回は新型コロナウイルスの対策をしながらの実施となり、協力いただいたボランティアの方々には大変ご苦労をお掛けしましたが、前回よりも大幅に綿布の提供数が増えました。

２４日（水）に１１施設へ綿布の受け渡しを実施しました。施設でも新型コロナウイルス対策で消毒回数が増えたことにより綿布が足りないとの事で、希望施設が増えている状況です。まだまだ福祉施設にとっては大変な状況に変わりありませんが、今だからこそできるボランティアがあると感じました。

ご協力いただいたすべての皆さま本当にありがとうございました！！

綿布仕分けの様子

福祉施設への受渡し

次回は１１月２４日（火）の予定です♪

ボランティア活動における新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルスの感染が拡大し、長期化が予想される現在の困難に、市民の力、ボランティアの役割はこれまで以上に、違った形で必要となってきます。今だからこそできる「支え合い」を共に進めていく中で、今回はボランティア活動をする上での「コロナ対策」についてまとめました。ボランティア活動の再開に向けてのご参考にしてください。

★ボランティア活動をする上での「コロナ対策」

① 活動参加のルールを設定

- 発熱（37.5℃以上、もしくは平熱より１℃以上高い）、風邪症状がある場合は参加しない。
- 活動中は原則として、マスクの着用を徹底する。
- 会話をする時は、可能な限り真正面を避ける。
- 活動前と後には、手洗い、手指消毒等の基本的感染症予防対策を徹底する。

② 身体的距離を確保する

- 人と人との間隔は、できるだけ２m（最低１m）空ける。人が多い場合は時間を分けて複数回実施する。

③ 換気方法の確認とルールの設定

- １時間に２回以上、数分間の換気を行う。原則２方向の窓等を同時に開け、定期的に換気する。
- 換気の悪い場所がある場合は、その場所は極力使わない。

④ 活動場所の密集を防ぐ

- 会議や勉強会などの場合、参加者が密集しないよう、会場内の配置（机や椅子の場所等）を工夫する。

⑤ 消毒の実施と消毒液の設置

- 複数人が触れる場所（ドアノブ、机、椅子など）を確認し、消毒液等で適宜消毒をする。
- 会場の入り口や活動場所に消毒液（アルコールなど）を設置し、定期的に手指消毒を実施する。

⑥ 運動時のこまめな水分補給（熱中症対策）の実施

- マスクを着用しての活動のため、普段以上にこまめに水分補給をする。

⑦ ボランティアグループ内で安全対策を共有

- メンバーが安心して活動できるようにグループ内で「コロナ対策」をチラシ等で共有する。

※ボランティア活動の「コロナ対策」でわからない事や相談があれば、お気軽に
舞鶴市ボランティアセンター（６２-７０４４）までご連絡ください。

ボランティア活動再開に向けて、しっかりと対策し、準備をした上で、活動をしましょう！困難な状況が続きますが、皆さんの力で乗り越えましょう！！

お知らせ

令和２・３年度舞鶴市ボランティアセンター運営委員が決定しました！

令和２年４月からボランティアセンター運営委員が新体制となりました。２年間よろしくお願いします。ボランティアセンターの登録グループの皆さまと一緒に力を合わせて、舞鶴市ボランティアセンターを盛り上げていきますので、皆さまにもご協力お願いします。

◎委員長　〇副委員長　　（敬称略）

氏名	担当部会	所属グループ
◎ 田中　國雄	――――	朗読ボランティア木曜会
〇 森井　貞子	研修部会	舞鶴手話サークル「つたの会」
真下　文子		舞鶴健康友の会
鳥居　文子		NPO 法人舞鶴国際交流協会 にほんごボランティア教室
上方　弘美		まいづるアロマきっず
〇 北　まゆみ	交流部会	朗読ボランティアこだま会
岡野　輝夫		舞鶴在宅介護者の会
橋本　裕子		舞鶴献血ボランティア会 AOBA
〇 馬場　美津代	調査・広報部会	舞鶴要約筆記サークル「みみかき」
上山　宏		中宮フレンド
寺島　均江		舞鶴市老人クラブ連合会

報告

ボランティアセンター登録グループを取材してきました！

中舞鶴婦人会ボランティアグループ

昭和５２年に設立し、中舞鶴地区の行事で、うどんやぜんざいを作られるなど、長年にわたり積極的に地域の行事に協力されています。

写真は真愛の家寿荘から預かった綿布を施設の職員が使いやすい大きさに切り揃える作業の様子です。代表の鈴木さんは「作業中は手だけでなく、口もしっかりと動かして、楽しくおしゃべりをしながらしています。少しでも施設の人や利用者の人のお役に立てればと思っています。」と話されていました。

中舞鶴婦人会ボランティアグループの笑顔や笑い声溢れる活動風景でした♪♪

身体を拭き取る際にも使われているので、丁寧に切り取るように心がけています♪

発 行者　舞鶴市ボランティアセンター（舞鶴市社会福祉協議会内）
住　所　〒625-0087　舞鶴市字余部下 1167　中総合会館 3 階
電　話　62-7044・65-0058　FAX　62-7039
Ｅ-mail　maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/